

インフラアセスメント for UNIX

ソリューション概要のご紹介

「インフラアセスメント for UNIX」は、UNIXサーバ、ストレージの機器情報や稼働情報をご提供いただくことで、次期システムのモダナイズ先に合わせた最適な構成案を提示するサービスです。

インフラ資産の全体把握と可視化

UNIXサーバの機器情報や利用状況をヒアリング。さらに稼働中のサーバに情報取得ツールを設置し、性能情報などを取得します。また得られた情報を可視化して、インフラ資産の全体を把握します。

最適なリプレース案の提示

インフラレイヤ（ハードウェアやOS）の利用状況から、過去の実績とサイジングノウハウを生かして、最適な移行先プラットフォームを選定します。

最新のクラウドサービスやプロダクト製品の中から、要件に応じてリプレース案をご提案し、製品選定やサイジングの考え方と合わせて、報告書としてわかりやすくご提示します。

From: UNIX



現行システムインフラ

To: クラウド・IA/Linux



調査・分析



次期システムインフラ構成案

更に詳しい情報はこちら



インフラアセスメント for UNIXに関する 詳しい情報をご確認ください

生成AIによる
最適なモダナイゼーションへ

Fujitsu 資産分析・可視化サービス
powered by Fujitsu Kozuchi
Co. Ltd.

2025年9月
富士通株式会社

5. UNIX資産分析・次期インフラ具体化

■ UNIXサーバ、スループット稼働率や稼働時間など様々な観点から、次期システムへの移行先に向けた最適な移行先を提示するサービス。

From: UNIX → To: クラウド/IA/Linux

移行先への最適化
調査・分析
移行先への最適化

選べる2つの分析サービス

- 1. 移行先システムを分析対象に、稼働データを用いた稼働分析を実施
- 2. 稼働率の低下傾向に起因し、最適な分析サービスを選択

詳細に視した本書編成分析

- 1. クラウド移行先を想定し、詳細な稼働分析結果を観点で分析
- 2. 稼働率に起因し、稼働率を向上させるための対策を提示
- 3. 稼働率に起因し、稼働率を向上させるための対策を提示

豊富な種類による稼働構成

- 1. UNIX稼働率を想定し、稼働率を向上させるための対策を提示
- 2. 稼働率に起因し、稼働率を向上させるための対策を提示
- 3. 稼働率に起因し、稼働率を向上させるための対策を提示

対象資産の稼働状況を明確にし、移行先資産を最適な構成で提示します

資料をダウンロード

モダナイゼーションに関する お問い合わせ・ご相談

お電話でのお問い合わせ

0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30
(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

Webでのお問い合わせ

お問い合わせフォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL
技術を使用しております。

ご不明な点やご要望などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

Road to 3X

Modernization

富士通の豊かな知見を束ねた、モダナイゼーションが示す道
DX SX GXまで伴走します。